

4 子育ての喜び・楽しさを得られるまちをつくる

(12) 子育てを応援する体制づくり

～笑顔あふれる子育て環境～

現状・課題

●「子育てを楽しい」と感じる保護者の割合はほぼ9割となっています。一方、子育てに関する悩みや不安を感じる保護者の割合は、5割を超えています。(※)多くの人が子育てに苦労しながらも、子どもと暮らす日々の生活に喜びを感じていることが伺えます。悩みや不安があっても、それを解消してくれる「支え」となるものがあれば、子育ては楽しく魅力あるものになると考えられます。

●問題なのは、子育てを支えてくれる人・相談できる人が「いない」と回答した保護者が、一定割合存在し、孤立化が心配されることです。不安や悩みを抱えながらも、いきいきと子育てすることができるよう、各種相談窓口の充実が必要です。

また、地域での人のつながりなど、家族や友人のように顔の見える関係で、気軽に心を開いて相談できる人・場所がどこにでもあるような環境をつくっていくことや、必要なサービスに確実にアクセスできるよう、様々な媒体を活用した広報に努めることも必要です。

●本市には、現在、多くの外国人が生活しており、その人数は年々増加傾向にあります。今後、外国人労働者の受け入れ増加に伴い、言葉や文化の違いから、子育てに不安や悩みを持つ家庭が増えることも想定されます。

方向性

●親子が気軽に集い交流する場の提供や地域で活動する育児サークルへの支援などを通じて、地域社会全体で子育てを支える取り組みを進めていきます。

●多様化する相談内容に対応するため相談員の専門性・スキル向上のための研修の充実を図ります。また、子育てサポーターの育成やシルバー人材センターなどシニア世代の参画をさらに活性化させ、地域の支援体制を強化しつつ、こうした人材の活躍の場を拡げていきます。

●子育ての悩みや不安の解消につながる情報をいつでもどこでも手軽に入手できるよう最新の情報技術の活用も検討しながら、保護者の生活様式に合わせた情報発信について、その提供する内容も含め工夫を凝らしていきます。

●外国人の子どもやその家庭にも同様の支援が確実に届けられるよう、配慮を行っていきます。

※ 北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（令和5年度）

主な取り組み

①地域における子育て支援の環境づくり

■地域でつくる子育て応援事業〔子育て支援課〕

子育てを支援するボランティアの育成や地域の子育て関係者との連携強化を図るなど地域で子育てを支援していく仕組みづくりを進めています。

■保健・医療・福祉・地域連携システム推進事業

〔子育て支援課〕

各区において、保健・医療・福祉関係機関や地域住民、行政が相互に連携した子育て支援の「地域のネットワークづくり」を推進しています。

■親子ふれあいルーム〔子育て支援課〕

乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談ができるスペースを区役所または近接する公共施設で運営しています。現在、区役所等に7か所、児童館に9か所設置しています。

◆利用状況（人数は延べ人数）

年度	乳幼児数
元	33,500人
2	18,878人
3	20,764人
4	21,134人
5	31,779人

■地域子育て支援センター〔こども施設企画課〕

子育て家庭への支援活動を企画、調整、実施する保育士などの職員を配置して、未就学児を対象に、親子で利用できるフリースペースを開放して遊びの場を提供し、保育士が利用者同士の交流を援助したり、子育てについての悩みや不安の相談を受けたりしています。定期的に育児講座を開催し、遊びの伝承や親子のふれあい遊びを体験してもらったり、保健師による講習も行ったりしています。また、子育てサークルに活動の場を提供したり、サークル運営に関する相談・援助などを行っています。

●実施施設 2か所

◆利用状況（人数は延べ参加人数）

年度	実施 か所数	育児相談	育児講座	フリースペース 交 流 事 業
元	2か所	1,412件	544人	16,166人
2	2か所	913件	62人	6,125人
3	2か所	828件	106人	5,004人
4	2か所	924件	199人	6,988人
5	2か所	1,344件	295人	10,690人

■赤ちゃんの駅〔総務企画課〕

官民が協力して、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やオムツ替えができる施設を「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の親が安心して外出できる環境づくりを進めています。



◆登録状況

年度	登録施設数		
	授乳オムツ替え	授乳のみ	オムツ替えのみ
元	459か所		
	274か所	12か所	173か所
2	496か所		
	290か所	12か所	194か所
3	512か所		
	298か所	14か所	200か所
4	529か所		
	307か所	15か所	207か所
5	498か所		
	289か所	11か所	198か所

注：各年度末時点の数

■育児サークル・フリースペース〔子育て支援課〕

市内には多くの育児サークルやフリースペースがあります。

各育児サークルは、市民センター、児童館等身近な施設を拠点に、親同士の交流や子どもの遊び・体験活動、地域との交流、子育てについての勉強会等、自主的な活動を活発に行っています。

また一部の施設では、子ども連れの人々が自由に参加、利用できるフリースペースを定期的に開設しています。お問合せは、各育児サークル・フリースペースへ。育児サークル・フリースペースは、ホームページ「子育てマップ北九州」で見つけることができます。

■育児サークル・子育て支援団体への活動支援

〔子育て支援課〕

主に未就学児及びその保護者を対象とする子育てに関わる団体に対して、活動支援補助金を交付しています。

②子育てを支える人材の育成・活用

■子育てサポーター〔総務市民局生涯学習課〕

子育てサポーター養成講座を実施し、市民センターを拠点として活動する「子育てサポーター」を養成しています。

子育てサポーターは、子育てに関する保護者の悩みや不安の軽減を図るため、市民センターにおける「育児サークル」や「フリースペース」等での活動を支援しています。

◆登録者数（人数は累計）

年度	利用者数
元	1,561人
2	1,425人
3	1,508人
4	1,493人
5	1,549人



■シン・子育てファミリー・サポート事業（ファミリーサポートセンター事業）

〔子育て支援課〕

子育て家庭が安心して子育てと仕事を両立できるような環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行うため、「シン・子育てファミリー・サポートセンター」において、地域で子育ての援助を行いたい会員（提供会員）と子育ての援助を受けたい会員（依頼会員）とでボランティア組織を作り、依頼会員に提供会員を紹介する事業です。

- 入会受付 シン・子育てファミリー・サポートセンター（子育てふれあい交流プラザ内）
- 提供会員 北九州市在住で、自宅で子どもを預かることができる方。特に資格や経験は要りません。（ただし活動前に研修を受講していただきます。）
- 依頼会員 北九州市在住または勤務していて、生後3か月から小学校6年生までの子どもがいる方
- 活動内容 保育所、幼稚園、放課後児童クラブ等の開始時間前および終了後における乳幼児および児童の保育や保育所などへの送迎など。（援助活動は原則として提供会員の自宅で行います。）

◆会員数

年度	元	2	3	4	5
門 司	256人	237人	239人	250人	253人
小倉北	843人	841人	863人	900人	934人
小倉南	816人	785人	801人	822人	846人
若 松	232人	218人	216人	223人	225人
八幡東	219人	210人	208人	206人	207人
八幡西	719人	714人	712人	733人	757人
戸 畑	224人	254人	249人	260人	290人
全 市	3,329人	3,259人	3,288人	3,394人	3,512人

注：会員数は提供会員と依頼会員の合計数

③子育て家庭への経済的支援

■児童手当〔子育て支援課〕

15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童（中学校3年生までの児童）を養育している方に児童手当を支給しています。

※平成24年6月分より所得制限があります。

※令和4年6月分より所得上限があります。

・手当の額（令和4年6月1日現在）

一人につき

3歳未満 月額 15,000 円

3歳以上小学校修了前（第1,2子）月額 10,000 円

3歳以上小学校修了前（第3子以降）月額 15,000 円

中学生 月額 10,000 円

※所得制限限度額以上所得上限限度額未満の場合は、年齢区分にかかわらず月額 5,000 円です。

※所得上限限度額以上の場合は、支給されず、申請却下または資格消滅となります。

※支給は、6月、10月、2月で、それぞれの前月分までを銀行口座に振り込みます。

【制度改正について（令和6年10月分から）】

(1)支給対象が、18歳に達する日以後の最初の3月31日までに延長されます。

(2)所得制限がなくなります。

(3)第3子以降の手当額が月3万円に増額されます。

3歳未満 第1,2子：15,000 円、第3子以降：30,000 円

3歳から18歳年度末まで（高校生年代）

第1,2子：10,000 円、第3子以降：30,000 円

(4)第3子算定に含める児童の年齢を「18歳年度末まで」から「22歳年度末まで」に延長されます。

(5)支給回数が6回（偶数月）になり、それぞれの前月分までを支給します。

◆児童手当の受給者数・支給額

年度	受給者数	支 給 額
元	67,497人	14,831,506千円
2	66,153人	14,553,196千円
3	65,183人	14,270,730千円
4	61,243人	13,785,430千円
5	59,164人	13,233,925千円

■母子公費負担医療費助成および医療給付

〔子育て支援課〕

○未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下、または特に生活力が薄弱で呼吸不全などの症状を示すものに、指定医療機関で養育に必要な医療給付を行います。ただし、世帯の収入に応じて、一部費用負担があります。

◆実施状況

年度	給付実人数	給付件数
元	181人	496件
2	176人	436件
3	157人	405件
4	124人	280件
5	183人	437件

○自立支援医療（育成医療）

18歳未満の、視覚・聴覚・音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、心臓・腎臓・小腸・免疫機能またはその他の内臓障害をもつ児童で、確実な治療効果が期待できる、保護者の収入が一定未満の場合に、指定医療機関での必要な医療の給付を行います。世帯の収入に応じて一部費用負担があります。

◆実施状況

年度	給付実人数	給付件数
元	96人	506件
2	106人	394件
3	74人	308件
4	40人	158件
5	35人	126件

○小児慢性特定疾病医療費

18歳未満の児童が、小児慢性特定疾病群の治療を指定医療機関で受けたとき、保険診療にかかる自己負担額を助成しています。ただし、世帯の収入に応じて一部費用負担があります。

なお、令和3年11月より対象疾病が762から788へ拡充されました。

小児慢性特定疾病群

悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血液疾患、免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患、染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群、皮膚疾患群、骨系統疾患、脈管系疾患

◆実施状況

年度	給付実人数	給付件数
元	789人	9,543件
2	817人	8,470件
3	786人	8,607件
4	754人	7,920件
5	720人	8,056件

○妊娠高血圧症候群等療養援護費支給

低所得世帯（前年分の所得税課税額の年額が30,000円以下の世帯）の妊産婦が妊娠高血圧症候群（妊娠中毒症）、糖尿病、貧血、産科出血、心疾患で7日以上入院して治療を行った場合、治療費の一部を助成しています。

■子ども医療費支給制度〔子育て支援課〕

子どもの健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療にかかる医療費の自己負担額を助成します。

○対象者 次のいずれにも該当する人です。

- ・北九州市に住所を有する18歳まで（18歳に達する日以後の最初の3月31日まで）の子ども
- ・国民健康保険又は各種社会保険の加入者であること
- ・生活保護を受けていないこと

○医療費の助成範囲

保険診療による自己負担額から下記金額を除いた分を助成します。

《通院医療費》

- ・3歳未満：無料
- ・3歳以上～小学校就学前：600円／月限度
- ・小学生：1,200円／月限度
- ・中学生以上18歳まで：1,600円／月限度

*1 医療機関あたり

*薬局は無料

《入院医療費》

- ・18歳以下：無料

*入院時の食事代、差額ベッド代等は助成の対象になりません。

県内の医療機関にかかるときは、健康保険証と市が交付する「北九州市子ども医療証」を医療機関の窓口提示することにより、助成が受けられます。

ただし、県外で受診した場合、治療用装具を作製した場合等は、医療機関で保険診療の自己負担分を一旦支払い、後日、市に申請することにより子ども医療費相当額を払い戻します。

◆実施状況

年度	助成件数	助成金額
元	794,211件	2,702,322千円
2	594,739件	2,051,264千円
3	746,841件	2,629,159千円
4	874,540件	3,009,291千円
5	968,921件	3,579,574千円

■北九州市国民健康保険出産育児一時金

〔保健福祉局保険年金課〕

出産育児に係る国民健康保険の被保険者の経済的負担を軽減するために、出産時に世帯主に対して出産育児一時金（48.8万円。ただし、産科医療補償制度対象分娩の場合は50万円）を支給しています。

◆支給状況

年度	件数	支給額
元	715件	299,516千円
2	701件	293,764千円
3	684件	286,776千円
4	608件	255,076千円
5	534件	260,971千円

また、出産育児一時金で支給される金額のうち、出産に係る費用を直接、国民健康保険から医療機関等に支払う制度として、出産育児一時金直接支払制度があります。

直接支払制度は、加入者が医療機関等へ保険証（またはマイナンバーカード）を提示し、医療機関等と合意するだけで利用できます。

④ 市民が利用しやすい相談体制

■子ども・家庭相談コーナーの設置〔子育て支援課〕

子どもや家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、必要なサービス・支援へとつなぐ総合的な相談窓口「子ども・家庭相談コーナー」を市内全区役所に設置し、市民により分かりやすく、利用しやすい相談体制の充実を図っています。

◆相談件数（全区延べ件数）

年度	相談件数
元	81,681件
2	77,956件
3	80,486件
4	80,760件
5	79,754件

● 主な相談内容

区分	内容
子育て支援の情報提供	○保育所や放課後児童クラブなどの子育て支援サービスについて ○育児サークルや地域活動について ○各種講座、イベント等について など
子どもや家庭についての相談	○妊娠、出産、育児の不安や悩みについて ○子どもの健康や発育について ○援護が必要な子どもについて（子どもの虐待・ヤングケアラー等） ○母子、父子家庭について ○夫婦関係、家庭の問題について など
教育相談	○子どもの教育について（いじめ、不登校、非行等） ○小、中、特別支援学校（学級）への就学について ○就学援助、奨学金の手続きについて など

■北九州市ヤングケアラー相談支援窓口の設置

〔子育て支援課〕

ヤングケアラーの早期発見・支援のため、ヤングケアラーやその家族、関係機関からの相談に対応し、必要に応じて学校と連携した支援や公的サービス（介護保険サービス・障害福祉サービス等）の案内等を行います。（令和4年5月17日開設）

◆相談件数

年度	相談対応件数
4	349件
5	346件

■子育て支援総合コーディネーターの配置 (子育て支援サロン“ぴあちえーれ”)

〔こども施設企画課〕

平成17年度に開設した「子育て支援サロン“ぴあちえーれ”」では、保育士、看護師等の資格を持つコーディネーターを3名配置し、子育てに関する相談への対応(電話・面接・メール等)や利用者に必要な関係機関との連絡・調整等の支援を行っています。また、各種子育てサービス情報を収集し、インターネット等を活用して情報の提供をしています。



◆アクセス件数

年度	アクセス件数
元	58,752件
2	144,805件
3	119,523件
4	143,619件
5	179,956件



○北九州市こそでて情報

子育て支援に関する様々な情報をまとめた情報誌を作成しています。

令和2年度に、完全リニューアルを実施し、公園の特集や離乳食の作り方、先輩パパ・ママの子育て体験談など、これからの子育てに役立つ内容となっています。

◆相談受付件数等

年度	電話相談	面接相談	メール相談	育児講座	図書貸出
元	661件	298件	75件	10回	925冊
2	464件	882件	151件	26回	1,299冊
3	369件	473件	174件	25回	1,102冊
4	296件	663件	87件	29回	1,040冊
5	330件	315件	62件	25回	926冊

⑤ 子育てに関する情報が届く仕組みづくり、PRの強化

■子育てに関する情報提供〔総務企画課〕

○子育てマップ北九州

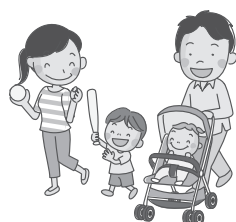
子育てに関する施設や市の支援サービス、イベントなど、子育てに関する様々な情報を提供するホームページです。

- ・健診、預かり制度、相談窓口などの行政サービスを、わかりやすくお知らせします。年齢別でも探せます。
- ・地図上で、赤ちゃんの駅や育児サークル・フリースペースなどを見つけられます。
- ・コラム「子育て知っ得!」では、市内の子育て支援の取り組みを取材形式で紹介します。

ホームページアドレス

パソコン <https://kitakyushu-city.mamafre.jp/>

子育てマップ で検索できます。



■幼稚園・保育所等情報の積極的な提供

〔こども施設企画課、総務企画課〕

市民に愛され親しまれる幼稚園、保育所等となるため、また、市民が幼稚園、保育所等を選択する際の一助となるよう、ホームページの充実や、ガイドブックの作成などにより、積極的に施設の情報提供に取り組めます。

さらに、タイムリーな情報提供を充実させるため、幼稚園、保育所等に通う子どもや保護者向けの情報を、施設を通して提供します。

■保育サービスコンシェルジュ配置事業

〔こども施設企画課〕

保育を希望する保護者等の相談に応じ、個別のニーズを把握した上で、認可保育所のほか一時保育や幼稚園預かり保育などの多様なサービスについての情報提供を行うため、各区役所に1名ずつ(大規模区は2名ずつ)「保育サービスコンシェルジュ」を配置しています。

また、「ウーマンワークカフェ北九州」における女性の就業、子育て支援の一環として、就業を希望する方への保育サービスに関する情報提供等を行うため同所に2名配置しています。

◆保育サービスコンシェルジュの対応件数

区分	年度	元	2	3	4	5
相談件数		26,137件	23,573件	21,212件	21,912件	21,729件

■保育サービスに関する情報提供の充実

〔こども施設企画課〕

市ホームページにて、さまざまな保育サービスや各保育所の概況および各月の受入可能児童数等を公開することで、保育所入所希望者への情報提供の充実を図ります。

⑥ 外国人市民の子ども・保護者への支援

外国人市民の子どもやその家庭が安心して暮らしていけるよう、子育てに関する知識や情報の正しい理解を促進するための支援等を行います。

◆子育てをされていて楽しいと感じる保護者の割合

年度	就学前児童	小学生	中学・高校生
3	92.3%	86.3%	79.3%
4	92.2%	88.5%	86.2%
5	44.4%	50.8%	44.7%

資料：「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に関する市民アンケート調査（令和2年～令和5年度）

◆子育ての悩みや不安を感じている保護者の割合

年度	就学前児童	小学生	中学・高校生
3	41.0%	44.4%	43.5%
4	44.3%	47.6%	53.8%
5	44.4%	50.8%	44.7%

資料：「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に関する市民アンケート調査（令和2年～令和5年度）

◆保護者の子育てに関する悩みや不安(抜粋) (就学前児童の保護者)

年度	内 容		
	子どもを叱りすぎているような気がする	病気や発育・発達に関する	子どもの教育に関する
3	12.6%	11.3%	10.1%
4	11.9%	13.3%	8.8%
5	11.3%	12.2%	9.1%

(小学生の保護者)

年度	内 容		
	子どもを叱りすぎているような気がする	病気や発育・発達に関する	子どもの教育に関する
3	11.8%	10.1%	11.1%
4	10.0%	13.4%	14.6%
5	10.0%	11.3%	12.3%

(中学・高校生の保護者)

年度	内 容		
	子どもの教育に関する	子育ての経済的な負担が大きいこと	友達づきあい（いじめ等を含む）に関する
3	16.8%	11.2%	5.7%
4	18.3%	11.2%	7.3%
5	17.4%	11.5%	6.3%

資料：「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に関する市民アンケート調査（令和2～令和5年度）

◆子育てを支えてくれる人がある(場所がある)人の割合

年度	就学前児童	小学生	中学・高校生
3	98.7%	96.6%	95.3%
4	98.2%	97.1%	93.5%
5	97.5%	96.7%	94.0%

資料：「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」に関する市民アンケート調査（令和2年～令和5年度）

